

情報通信審議会 電気通信事業政策部会  
ユニバーサルサービス政策委員会（第35回）

日時：令和5年8月1日（火）14：00～14：16

場所：オンライン会議

委員：三友主査、岡田委員、春日専門委員、砂田専門委員、高橋専門委員、長田専門委員、  
藤井専門委員

事務局（総務省）：木村電気通信事業部長、堀内基盤整備促進課長、大堀企画官、宇仁補  
佐、足立係長

**【三友主査】**

本日の議題は『「ブロードバンドサービスに関するユニバーサルサービス制度における  
交付金・負担金の算定等の在り方」について』この一件となっております。

本件につきまして、事務局から最初に御説明いただいた後に、質疑応答及び意見交換を  
行いたいと思います。

それでは、事務局から御説明をお願いいたします。

[「ブロードバンドサービスに関するユニバーサルサービス制度における交付金・負担金  
の算定等の在り方」について]

《事務局から資料1、2及び3について説明》

**【三友主査】**

それでは、ただいまの御説明につきまして、質疑応答及び意見交換に移りたいと思いま  
す。ご質問、ご意見のある方は、チャット欄あるいはご発言にてお申し出いただけますで  
しょうか。

**【藤井専門委員】**

ワーキンググループを開催して細かい点議論いただくことは賛成。今回の検討内容は負  
担金の額に大きく影響するところかと思う。前の研究会等でもいろいろ議論になったが、

この額がどんどん上がっていくような形にしてしまうと、制度自体が成り立たなくなってくる難しい検討をされることになると思うが、うまくバランスをとった上で、将来を予見したうえで、金額があまり大きくなりすぎない仕組みを作っていただけるとよいと思っており、実効的でよい制度にしていけるように検討をお願いできればと思う。

**【三友主査】**

ありがとうございます。まさにおっしゃる通りであると思います。なかなか難しい条件かもしれないが、実際にやってみないとわからないところでもあります。

**【高橋専門委員】**

一つコメントだが、原価の算定の箇所、未利用芯線の費用というのは非常にデリケートな問題だと思う。私は原価計算が専門だが、アイドルキャパシティになっているところをどう負担していくかという問題になって、これを全部原価に含めてしまうと、単価が高くなってしまいうということ、では未利用芯線にかかわるコストだけ別にして、そこを公的に手当てするのかということ、これもまた難しい問題となるので、まずは未利用芯線にかかるコストはどれくらいなのかということ把握することが重要かと思う。その点について、事務局によりしくお願いしたい。

**【三友主査】**

ありがとうございます。ただいまの意見につきまして、事務局は何かコメントありますでしょうか。

**【事務局】**

承知しました。高橋先生にもWGにもご参画いただきますので、しっかりと調整を進めさせていただきます。

**【三友主査】**

その他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは特段の御意見がございませんので、ただいまの事務局からのご説明につきまして御了承することとして、本検討に当たりまして、「ブロードバンドサービスに関するユ

ユニバーサルサービス制度における交付金・負担金の算定等に関するワーキンググループ」を開催して検討を進めていくこととしたいと思っておりますけれども、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

**【三友主査】**

ありがとうございます。それでは本委員会の元で先程のワーキンググループを開催し具体的な検討を進めていただくということでよろしく願いいたします。本日の議事は以上になりますが、何か皆様から追加でご発言ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

最後に、次回の会合につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

**【事務局】**

次回会合につきましては、開催日等を後日事務局より御連絡を差し上げます。

**【三友主査】**

以上をもちまして、第35回ユニバーサルサービス政策委員会を終了いたします。

以上